

総合修正CBR試験システム
 ファイル(F) ウィンドウ(W) 設定(D) ヘルプ(H)

突固め試験1 逆算 突固め試験2 混土補正 突固め修正CBR モールド重量登録 容器重量登録

突固め試験2

前回DATA読込 閉じる プリント出力

突固めによる土の締固め試験

調査件名: ああああああああああああああああV

試料番号・深さ: No. いはいはいはいはい (12.3 m ~ 13.4 m)

試験年月日: 12 年 1 月 1 日 試験者: ピーシー・ネットワーク

試験方法	EEEEEEEEEEEE	土質名称	うううううううううううううう
試料の準備方法	乾燥 湿潤法	土質重量	2.5
試料の使用方法	繰返 ・非繰返	土粒密度	2.698
含水比	24.74	最大粒径	19
試験分取後	3.89	モ-内径	15
乾燥処理後		ポ-高さ	12.50

測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比	7.99	9.43	10.85	12.04	13.03	14.84	16.88	
乾燥密度	1.693	1.751	1.829	1.845	1.845	1.791	1.718	

ρ max %
ρ max %

1

締固め曲線

最大乾燥密度: 1.849 t/m³

最適含水比: 12.53 %

メモリ修正

乾燥密度: 2 2

最低値: 1.653

1メモリの値: 1.02

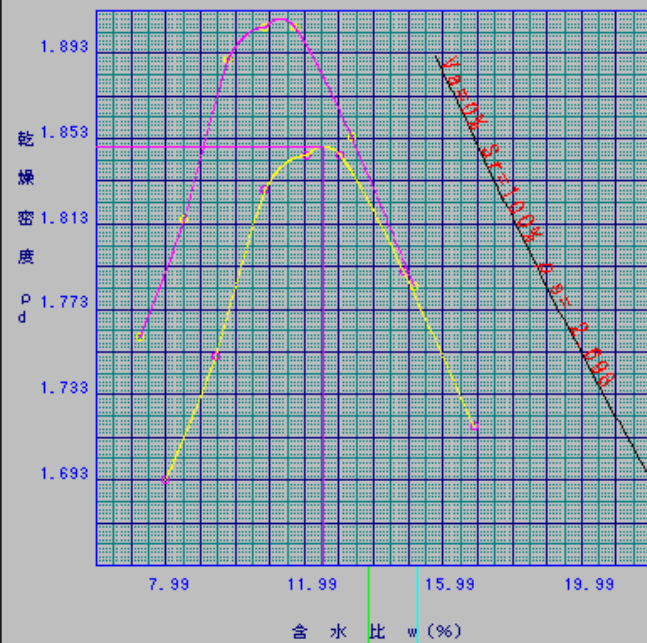
1

ステータス 2007/05/28 17:25

突固試験 1 逆算 突固め 試験 2 湿レキ 補正 突固め 修正CBR モールド 重量登録 容器重量 登録

試験方法	EEEEEEEEEE	土質名称	うづううづうづうづうづう
試料の準備方法	乾燥 湿潤法	ラッパ重量	2.5
試料の使用方法	締固め ・非締固め	落下高さ	30
含水比	試料分取後 24.74	突固回数	55
	乾燥処理後 3.88	突固総数	3
		モ-内径	15
		ポド高さ	12.50

測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比	7.99	9.43	10.85	12.04	13.03	14.84	16.88	
乾燥密度	1.693	1.751	1.829	1.845	1.845	1.791	1.718	

 ρ max %
 ρ max %


締固め曲線

最大乾燥密度 1.849 t/m³

最適含水比 12.53 %

メモリ修正

乾燥密度 2 2

最低値 1.653

1 メモリの値 .02

含水比 2 4

最低値 5.99

1 メモリの値 1

Message

 曲線 Va Sr
 曲線 Va Sr

曲線消去: SPACE で 削除

突固試験 1 逆算 突固め 試験 2 混れ土 補正 突固め 修正CBR モールド 重量登録 容器重量 登録

突固め試験 2

出力フォーム

プリンタ設定 補正

プリンタ出力 0

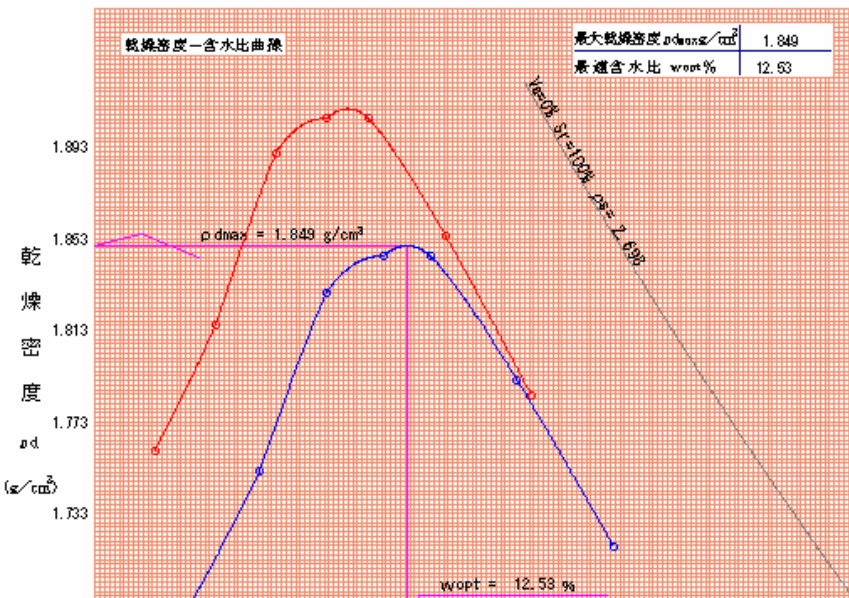
JIS A 1210
JIS F 711

突固めによる土の締固め試験(締固め特性)

調査件名 ああああああああああああああああVV 試験年月日 12 年 1 月 1 日

試料番号(梁さ) いはいはいはい (12.3 m - 13.4 m) 試験者 ビーシー・ネットワーク

試験方法	EEEEEEEEEE	土質名称	ううううううううううううううう
試料の準備方法	乾燥法 = 真空乾燥	ランマー質量 kg	2.5
試料の使用法	標準法 非標準法	落下高さ cm	30
含水比	試料分取含水% 24.74 乾燥処理含水% 3.89	突固め回数/層	55
測定 No.	1	2	3
平均含水比 w, %	7.99	9.43	10.85
乾燥密度 ρ_d g/cm ³	1.893	1.751	1.829



プリンタ出力

ワー

うう

2.698

19

15

12.50

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

突固試験
1 逆算突固め
試験2混レキ
補正突固め
修正CBRモールド
重量登録容器重量
登録

混レキ率による締め固め曲線及び最大乾燥密度の変化の計算

前回DATA読込

閉じる

プリンタ出力

混レキ率による、締め固め曲線及び最大乾燥密度の変化の計算

1

調査件名 あああああああああああああああああああVV

試料番号・深さ No. 111111111111 (12.3 m ~ 13.4 m)

試験年月日 12 年 1 月 1 日 試験機 ピーシー・ネットワーク

補正前

測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 (%)	7.99	9.43	10.85	12.04	13.03	14.84	16.88	
乾燥密度 (g/cm ³)	1.693	1.751	1.829	1.845	1.845	1.791	1.718	

乾燥密度の補正地

$r_{dc} = 1 \div \{(1-P) \div r_{d1} + P \div r_{d2}\}$
 P : 少数で表した混レキ率 0.11
 r_{d1} : 最大乾燥密度及び乾燥密度
 G_b : レキのカサ比重 2.583 (g/cm³)
 r_w : 水の単位体積重量 1.000 (g/cm³)
 r_{d2} : G_b × W 2.583 (g/cm³)

締め固め含水比の補正式

$W = W1 \times (1-P) + W2 \times P$
 W2 : レキの吸水率 1.177 (%)

計算結果

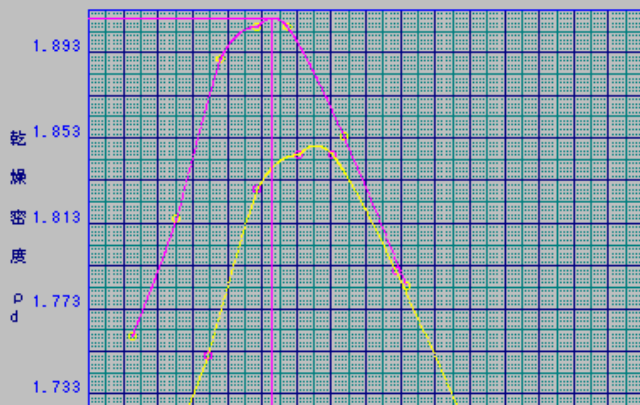
最大乾燥密度 1.909 (g/cm³)
 最適含水比 11.29 (%)

補正後

測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 (%)	7.24	8.52	9.79	10.85	11.73	13.34	15.15	
乾燥密度 (g/cm ³)	1.760	1.815	1.890	1.905	1.905	1.854	1.784	

表題コピー

NO.10



1

総合修正CBR試験システム		clean option		53.10% 204.43/135.48		6.15.6 1.02.9/1.798.6		CPU 29%		2007.5.28 17.14.17	
ファイル(F)	ウィンドウ(W)	設定(D)	ヘルプ(H)								
突固試験 1 逆算	突固め 試験2	混レキ 補正	突固め 修正CBR	モールド 重量登録	容器重量 登録						
混レキ率による締め固め曲線及び最大乾燥密度の変化の計算 出力フォーム プリンタ設定 補正 プリンタ出力 0 プリンタ出力 1											
混レキ率による、締め固め曲線及び最大乾燥密度の変化の計算 調査件名 aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaVV 試験年月日 12年 1月 1日 試料番号(梁さ) iiiiiiiiiiiiii (12.3 m - 13.4 m) 試験者 ピーシー・ネットワーク											
乾燥密度の補正式 $rdc = 1 \div [(1 - P) \div rd1 + P \div rd2]$ P : 少数出で表した混レキ率 0.11 rd1 : 最大乾燥密度及び締乾燥密度 g/cm³ Gb : レキのカサ比重 2.983 g/cm³ rw : 水の単位体積重量 1.000 g/cm³ rd2 : Gb × rw 2.983 g/cm³											
締め固め含水比の補正式 $W = W1 \times (1 - P) + W2 \times P$ W2 : レキの吸水率 1.177 (%)											
計算結果 最大乾燥密度 1.909 g/cm³ 最適含水比 11.29 (%)											

トワー

7 8

88

18

式

77 (%)

09 (g/cm³)

29 (%)

7 8

15

84

NO.10

1

ステータス

2007/05/28

17:14

突固試験
1 逆算突固め
試験2混レキ
補正突固め
修正CBRモールド
重量登録容器重量
登録

乾燥密度の補正式

$$rdc = 1 \div [(1 - P) \div rd1 + P \div rd2]$$

P : 少数出で表した混レキ率 0.11

rd1 : 最大乾燥密度及び乾燥密度 g/cm³Gb : レキのカサ比重 2.883 g/cm³rw : 水の単位体積重量 1.000 g/cm³rd2 : Gb × rw 2.883 g/cm³

締め固め含水比の補正式

$$W = W1 \times (1 - P) + W2 \times P$$

W2 : レキの吸水率 1.177 (%)

計算結果

最大乾燥密度 1.909 g/cm³

最適含水比 11.29 (%)

測定 No	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 w %	7.24	8.62	9.79	10.86	11.73	13.34	15.15	
乾燥密度 ρd g/cm ³	1.780	1.815	1.890	1.905	1.905	1.854	1.784	

NO. 10

77 (%)

09 (g/cm³)

29 (%)

7 8

15

84

NO. 10

1